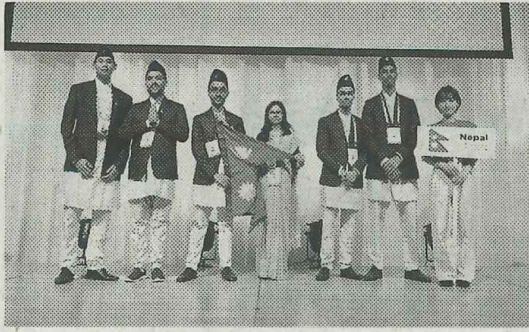


国際数学オリンピック運営支援

神田外語大学 世界110か国の選手のチームガイドに

神田外語大学(宮内孝久学長、千葉県美浜区)は、7月7日(12日に開催された「第64回国際数学オリンピック日本大会」の運営支援およびスポーツイベントのサポートとして、学生を延べ38人派遣した。写真。

運営支援のサポート学生は、世界110か



国以上から集まる出場選手のチームガイドとして、それぞれ担当国が割り振られ、毎日のミーティング出席、ホテル到着時の受け入れ、食事のサポート、試験関係の対応、エクスカージョンのプラン作成・付き添い、イベント情報の案内などの全行事に参加し、サポートにあたった。

外国語学部国際コミュニケーション学科4年の大堀加奈恵さんは、「1人で10人以上のチームを英語で案内や誘導をすることは非常に大変でした。特にエクスカージョンの際は、選手のやりたいこと・行きたい場所をヒアリングした上でプラン案を立て、事前に電車や道、買い方などをしっかり調べておくなど、チームを率いるリーダーシ

ップ的な要素も重要だと感じました」と感想を寄せた。

学生たちは、学んできた語学力を生かして自分の言葉で丁寧に伝え、諦めずに各国の大会参加者をサポートし、日本と海外をつなぐ架け橋となり活躍した。